

※原稿は、質問した議員の責任において作成したものです。

町民の声を代表して9人の議員が一般質問



美谷 芳昭

今回は、平成28年10月の町長選挙時に、上森町長が町民の皆さんに示した次の「公約」を今後どう実現されるのかを町長に質問した。

問 今回、争点の一つであつた「ダイオキシン類汚染物処理問題」、今後無害化に向けてのロードマップ、処理場所、処理費用の捻出はどうするのか。

答 処理場所や処理方法は、現在施設組合内で検討しており、平成29年3月から5月までに処理方法の検討を終え、保管期限の2年以内に処理終了を想定している。

処理費用は国に特別交付税を要望するが、不交付でも両町で負担して処理を終えたい。

答 実施隊は、役場の職員若しくは嘱託員を任命し、獣友会も入つて隊を

問 高齢者施策の内、特に移動支援を「特区制度」を導入して行うとなっているが、特区制度の内容と方法はどうか。

答 現行の公共交通空白地・福祉有償運送制度に気軽に民間事業者も参入した特区制度を想定している。また、運賃の一部を町が補助することも検討していく。

問 公約には無かつたが住民からの要望が高い合併浄化槽の補助制度創設と児童公園の新設は、ぜひとも早期に実行すべきだと思うが、見解は。

答 合併浄化槽の補助制度(40%補助)は平成29年4月から実施予定である。

問 獣害対策として役場に「獣害対策実施隊を編成して被害を減少させる」となっているが、どのように実行するのか。また国の交付金を活用して、鹿・猪1頭当たり8千円程度の捕獲報奨金を支払ってはどうか。

答 山林資源の活用によ

り、良好な里山環境を維持し整備を進めていく。

その一つとしてバイオ署とも連携し、きめ細やかな対応を図ることも、地域の現状を知ることで職員の資質向上につなげていく。

問 安全で安心に暮らせる地域を構築する上で、防犯カメラの設置が必要だと思うが、現状及び今後の取組みについて問う。

答 防犯カメラの設置については、犯罪解決や抑止力の向上、また行方不明者の捜索等にも効果的であり、今後28年度、29年度の2年間で15ヶ所設置していく。

問 町長選挙時の公約実現は!

町長選挙時の公約実現は!



西河 巧

- 一、地域担当職員制度
- 二、防犯カメラの設置
- 三、山林資源の活用



防犯カメラ
作動中
24h SECURITY CAMERAS

山林資源の活用

問 町域の8割を占める山林の有効活用についての今後の取組みについて問う。

答 山林資源の活用によ

り、良好な里山環境を維持し整備を進めていく。

その一つとしてバイオ署とも連携し、きめ細やかな対応を図ることも、地域の現状を知ることで職員の資質向上につなげていく。

問 安全で安心に暮らせる地域を構築する上で、防犯カメラの設置が必要だと思うが、現状及び今後の取組みについて問う。

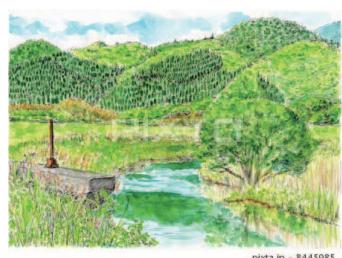
答 防犯カメラの設置については、犯罪解決や抑止力の向上、また行方不明者の捜索等にも効果的であり、今後28年度、29年度の2年間で15ヶ所設置していく。

問 地域担当職員制度と役割について問う。

答 この制度は、12月から実施し、地域ごとに3人から4人の職員を配置して、地域と行政のパイプ役として気軽に相談できる窓口となり、担当部署とも連携し、きめ細やかな対応を図ることも、地域の現状を知ることで職員の資質向上につなげていく。

問 地域担当職員の配置と役割について問う。

答 この制度は、12月から実施し、地域ごとに3人から4人の職員を配置して、地域と行政のパイ



一般質問

地域担当職員制度

問 地域担当職員の配置と役割について問う。

答 この制度は、12月から実施し、地域ごとに3人から4人の職員を配置して、地域と行政のパイ

防犯カメラの設置

問 安全で安心に暮らせる地域を構築する上で、防犯カメラの設置が必要だと思うが、現状及び今後の取組みについて問う。

答 防犯カメラの設置については、犯罪解決や抑

止力の向上、また行方不

明者の捜索等にも効果的

であり、今後28年度、29

年度の2年間で15ヶ所設

置していく。

山林資源の活用

問 町域の8割を占める山林の有効活用についての今後の取組みについて問う。

答 山林資源の活用によ

り、良好な里山環境を維持し整備を進めていく。

その一つとしてバイオ

署とも連携し、きめ細や

かな対応を図ることも、

ひとも早期に実行すべき

だと思うが、見解は。

答 ひとも早期